

南相馬

ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 11

平成 21 年 7 月 15 日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口 194

TEL 0244-23-6421

URL <http://www.city.minamisoma.lg.jp>

南相馬市博物館 企画展

相馬の



平成21年 10月3日(土) ~ 12月6日(日)

相馬地方にとって「馬」とはなんでしょう…?

馬と日本人は、古くから密接な関わりを持ってきました。相馬地方でも、それぞれの時代の中で馬と人との歴史があります。

馬と人との密接な関係は、昭和中期に電気やガソリン動力の利用が普及する頃から、徐々に希薄となってきましたが、相馬地方では、相馬野馬追が象徴するように、現在でも馬と人との結びつきは強固で、全国的に見れば、珍しい地方かもしれません。

今回の展示では、相馬地方における馬と人との関わりを物語る資料を、それぞれの時代から紹介し、相馬地方の馬と人の文化史を振り返りながら、相馬地方における「馬」を、より浮き彫りにしたいと思います。

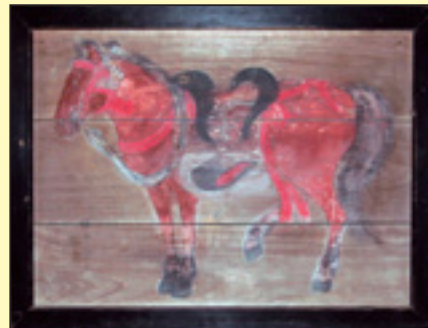
◆観覧料

区分	個人	団体
一般	400円	350円
高校生	200円	150円
小中学生	100円	80円

団体料金は20名様以上 市内に居住・通学する小中高生は無料
障がい者の方は無料（手帳をご提示ください）

◆展示解説会 10月11日（日）

※企画展開催中、講演会開催する予定です。
（日時未定。詳細はポスター等をご覧ください）



ひらふくすいあん
平福穂庵筆 神馬図絵馬

南相馬市指定文化財／相馬太田神社所蔵



うまがたはにわ
馬型埴輪（経塚1号墳出土）

会津坂下町教育委員会所蔵

展示構成

I. 馬とは何か

日本人にとって、馬とはどのような存在であったのか。おもに描かれた馬を中心に、日本人が持つ馬のイメージを再確認する。

II. 権力の象徴

時の権力者・為政者たちによって、馬は多様な目的で使用されてきた。相馬地方ではどのように使用されてきたのか、如何なる存在であったのかを紹介。

III. 人々とともに

相馬地方における、馬とかかわりの深い信仰、農耕を中心とした人々と馬の生活、馬の伝説など、人々と身近にかかわっていた馬について紹介。



8月21日～23日

県民の日を記念して

無料開放します

8月21日（金）～23日（日）の3日間、今年も「福島県民の日」を記念して、博物館を無料開放します。外部講師をお招きする博物館講座や、「古武道演武」を開催予定です。皆さまのご来館をお待ちしております。

福島県民の日とは

明治9年（1876）8月21日、旧福島県・磐前県・若松県の3県が合併し、現在とほぼ同じ姿の福島県が誕生したことにちなみ、平成9年（1997）から毎年8月21日を「福島県民の日」と制定しました。

特別展

福島県歴史資料館収蔵資料からみた

むかし

南相馬のちょっと昔

平成21年 8月6日(木)～9月13日(日)

福島市にある福島県歴史資料館には、明治・大正期の県の公文書や県内各地の近世文書など数多くの資料を収蔵し、一部公開しています。

今回、福島県歴史資料館について紹介するとともに、明治・大正時代、とくに明治22年(1889)の「明治の大合併」を中心に、約120年前の「ちょっと昔(むかし)」の当地方の様子についてわかる資料、さらに当市にかかわる資料についてあわせて展示し紹介します。

後援：財団法人福島県文化振興事業団



福島県歴史資料館の外観

観覧料	一般	300円(250円)
	高校生	200円(150円)
	小中学生	100円(80円)
※○内は団体料金		
市内に居住・通学する小中高生は無料		

常設展示室 ミニテーマコーナー

南相馬市の 浦の民俗

平成21年 7月1日(水)～8月30日(日)

南相馬市内にはかつて、鹿島区に八沢浦、小高区に井田川浦があり、豊かな漁業資源がありました。これらの浦では、海水から塩を作る製塩がおこなわれていました。当時の製塩資料として、八沢浦から木鍬(キッカ)、塩壺(ツボ)、井田川浦から揚壺(ハツボ)等の写真を展示します。また、八沢浦の明治期の地図も展示します。



八沢浦で使用された塩壺(上)と、井田川浦で使用された木鍬(下)



常設展示室 ミニテーマコーナー

羽根田利夫生誕100周年記念

すいせい

彗星発見ものがたり

平成21年9月1日(火)～12月20日(日)

今年は「世界天文年2009」であり、また当市で彗星を発見した羽根田利夫(はねだとしお)の生誕100周年でもあります。

今回、これらを記念して、約30年前の昭和53年(1978)9月1日に発見された「ハネダ・カンボス彗星」を中心に、当時世界最年長の発見者として知られた羽根田利夫の功績について紹介します。

「みなさんも、あらためて星空を眺めてみては・・・」



観測中の羽根田利夫

近刊のご紹介

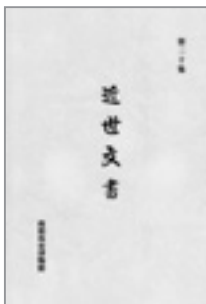
博物館で最近発行されたものを紹介します。出版物の詳細は南相馬市博物館まで問い合わせください。

近世文書第20集

平成21年3月発行 A4判 64頁 600円

『近世文書』は市内に所在する古文書の中から、地方史研究の資料として解読し発行しているものです。

掲載資料の『万勘定諸式箇条規定書』は、江戸時代中ごろ、中村藩の勘定奉行などをつとめた紺野達義が、勘定方に関わるさまざまな職務についてまとめたものです。



研究紀要 第11号

平成21年3月発行 A4判 78頁 700円

博物館学芸員の調査研究成果をまとめたものです。第11号の内容は下記のとおりです。

「古文書解読講座について(6)嘉永七年奥州中村藩中郷海岸防備と『伺書』(水久保克英)」「南相馬の炭焼き—記録映画『南相馬の炭焼き』制作から(二本松文雄)」「近代に展示された相馬義胤の甲冑・肖像画—古写真を中心に—(二上文彦)」「阿武隈高地における在来イワナの移殖記録(稲葉修)」「上北高平地区・高松遺跡群について(佐藤祐子)」



かしまの歴史講座

当館学芸員を講師に、南相馬市の歴史や自然などを紹介する講座です。おもに、南相馬市まごころセンター(鹿島区横手)を会場として、6月から開講しています。年7回予定です。

詳細については、南相馬市博物館までお問い合わせください。

今後の予定 12月まで

期日	テーマ・内容
9月9日(水)	南相馬市の史跡めぐり (小高区を中心に)
10月7日(水)	南相馬市博物館企画展「相馬の馬」見学会
11月11日(水)	文字が語る古代の行方
12月9日(水)	鹿島区の生きもの

会場はおもに南相馬市まごころセンター(鹿島区横手字川原186-1)を使用します。



講座のようす

6月10日 南相馬市まごころセンターにて

鹿島歴史民俗資料館より

8月30日まで
開催中!

ラビリンス 地底の迷宮 大穴鍾乳洞

相馬地方西部にある相馬古生層には、石灰岩質の地層あり、そこに大穴鍾乳洞が形成されています。この鍾乳洞には貴重な固有種の昆虫が生息しています。

現在、大穴鍾乳洞は保全のために一般の立ち入りを制限しています。この機会に大穴鍾乳洞の魅力について地質の面だけではなく、探検史的な面からも紹介しています。

夏休みの学習などにもお役立てください。



鍾乳洞内の地底湖

写真提供: あぶくまけいばあず・くらぶ



高橋紀信先生による解説会

4月26日

南相馬市博物館の催し物 7月～12月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
7月25日(土)	体験学習 「自然観察会 —川の生き物をつかまえてみよう!!」	9:30~12:00 定員 20名 講師 三田村敏正氏・久保隆氏(福島昆虫ファウナ調査グループ)、佐藤洋司氏(阿武隈の野生動物を考える会) 夏の川で、魚や水生昆虫を観察します。 【持ち物】帽子、水筒、着替え、ぬれてもいいクツ、長グツ、アミ、魚や虫を入れるバケツや水そうなど
8月1日(土)	体験学習 「親子勾玉づくり」	10:00~12:00 定員 大人20名・子ども20名 講師 佐藤祐子学芸員 縄文時代から使用されていた勾玉の歴史や技術を学びながら、大人は琥珀、子どもは滑石で作ります。 【持ち物】鉛筆・タオル1枚・蛍光ペン 【材料費】琥珀 1,050円・滑石 250円 ※琥珀は20名限定です。申込み時に琥珀・滑石のどちらかを申し出てください。
8月22日(土)	博物館講座 「相馬地方の浦の民俗」	13:30~15:30 定員 40名 講師 佐々木長生氏(福島県立博物館専門学芸員) 南相馬地方の浦の民俗について、小高区井田川浦、鹿島区八沢浦を中心に紹介します。
9月19日(土)	博物館講座 「ハネダ・カンボス彗星」	13:30~15:30 定員 40名 お話 羽根田ヨシ氏 解説 水久保克英主査 羽根田利夫生誕100周年記念として叔父利夫氏のことや彗星発見当時の思い出話など。
9月26日(土) ~27日(日)	体験学習 「化石をとって展示しよう!」	①9月26日は13:30~16:00 ②9月27日は9:00~12:00 定員 20名 講師 高橋紀信氏(相馬中村研究会顧問)・平宗雄氏(相馬中村層群研究会) ジュラ紀の化石を採集したあと、博物館のエントランスホールに化石を展示してみましょう。 ※2日連続で参加できる方 【持ち物】軍手・新聞紙・ビニール袋・油性ペンなど
10月12日(月) 体育の日	民話の世界	10:30~12:00 民話語り部:菅野清二・渡辺弘・荒一之・宮本晴一・佐藤一子 会場:国指定重要文化財 旧武山家住宅(原町区北原字大塚) 江戸時代に建てられた農村に住んだ武士の住宅の、いろいろばたで楽しい民話を聞きます。
10月17日(土)	博物館講座 「相馬地方の馬の民俗」	13:30~15:30 定員 40名 講師 佐藤友之主査 相馬地方の人々の生活の中で、馬と人との関わりについて紹介します。
10月18日(日)	相双管内史跡めぐり	9:00~15:00 定員 22名 講師 当館学芸員 相双管内の史跡・神社仏閣をめぐり、相双地区の歴史について学びます。
11月14日(土)	体験学習 わらそうり作り	9:30~12:00 定員 20名 講師 米倉 豊氏 【材料費】300円 わらそうりを作り、自給自足の時代のくらしとわらを使った生活用品について学びます。
11月21日(土)	博物館講座 「馬の考古学」	13:30~15:30 定員 40名 講師 佐藤祐子学芸員 馬は日本にいつ頃からいたんだろう?権力の象徴として、通信手段や軍事力として使用された馬と人との関わりについて紹介します。
12月19日(土)	博物館講座 美術講座「東北のやきもの」	13:30~15:30 定員 40名 講師 水久保克英主査 冬の企画展にあわせた講座。相馬駒焼など江戸時代の東北周辺の陶磁器について紹介します。

8月2日・9月6日・10月4日
11月1日・12月6日

古文書解読講座

13:30~15:30 定員 20名 【持ち物】原稿用紙・筆記用具
相馬の歴史について書かれた江戸時代の記録書「東奥中村記」をテキストとします。

考古学フキサロン

定員40名 講師 文化財課職員 いずれも13:30~15:00

期 日	内 容
8月8日(土)	縄文アクセサリー ~ブランドのはじまり~
9月5日(土)	考古学への招待①~どうして昔のことがわかるの?
9月12日(土) ~13日(日)	体験学習 縄文土器づくり(初級編) ※定員20名 申し込みが必要です
10月10日(土)	体験学習 縄文土器の野焼き体験 ※定員20名 申し込みが必要です
11月7日(土)	邪馬台国時代の日本列島~お墓を中心に~
12月5日(土)	ヤマト王権と桜井古墳のなぞを解く

◆地域伝統文化振興事業 観覧無料

古武道演武

と き 8月23日(日) 午後1時45分~
と ころ 県立東ヶ丘公園
西側芝生広場(博物館前)

相馬に伝わる古武道流派の演武をおこないます。馬術・弓術・炮術を予定しています。詳細はポスター・市の広報紙等でお知らせします。



演武のようす(平成19年度)

各館のご利用案内

南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口194 電話:0244-23-6421 ファックス:0244-24-6933
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります ※7月21日(火)は臨時開館します。

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中学生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2442 鹿島区西町三丁目1 電話:0244-46-4281 ファックス:電話と同じ
E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~16:45 休館日 毎週月曜日および年末年始

※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料